

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラムⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報2

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 里美 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	「未来デザインプログラム」とは何か学ぶ 夢のスケッチブックの使い方を学ぶ
2	SANKOワークコンピテンス	SANKOワークコンピテンスの理解を深める
3	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
4	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
5	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
6	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
7	言葉～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
8	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
9	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ

10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なことは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけでなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラムⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報2

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 里美 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
3	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
4	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
5	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを学ぶ
6	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ
7	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
8	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
9	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する

10	未来マップを作ろう1	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
11	未来マップを作ろう2	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
12	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
13	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
14	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する
15	2年生に向けて	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	キャリアサポートⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアサポートⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に参加する目的を理解し、社会人として（現場で）必要なスキル・考え方を習得する。 ・就職活動の流れを知り、すぐに動き出せる準備をする。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・業界研究を行い自分が働く業界について理解ができています。 ・就職活動に向けて自己分析を行い、自身の強みを分かりやすく相手に伝えることができる。 				
評価基準	発表点40%、提出物30%、授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	プレゼンテーション基礎Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	水谷 真子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	前期予定を確認し今後のビジョンを伝える
2	仕事について	働くということについて
3	業界理解1	WEB業界について理解をし、発表ができる準備をする
4	業界理解2	WEB業界について理解をし、発表ができる準備をする
5	業界理解3	WEB業界について理解をし、発表ができる準備をする
6	業界理解4	WEB業界について理解をし、発表ができる準備をする
7	業界研究まとめ	業界研究について総評を行う
8	就職活動の仕方1	将来の職種、就職活動、就職後の状況について理解する。
9	就職活動の仕方2	将来の職種、就職活動、就職後の状況について理解する。

10	自己分析1	自己分析について
11	自己分析2	自己分析について
12	他己分析	客観的にどのように思われているかを知る
13	他者協カワーク1	数人で協力をし、課題を解決する力を手に入れる
14	他者協カワーク2	数人で協力をし、課題を解決する力を手に入れる
15	まとめ	振り返りまとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	キャリアサポートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアサポートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に参加する目的を理解し、社会人として（現場で）必要なスキル・考え方を習得する。 ・就職活動の流れを知り、すぐに動き出せる準備をする。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究を行い、自分が働く業界について理解ができています。 ・就職活動に向けてエントリーシートの作成を行いすぐにエントリーできる準備ができています。 				
評価基準	発表点40%、提出物30%、授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	プレゼンテーション基礎Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	水谷 真子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期の流れの共有	後期予定を確認し今後のビジョンを伝える
2	履歴書とは	履歴書作成の必要性を伝え、履歴書を作成する
3	履歴書の作成	履歴書の作成
4	エントリーシートとは	エントリーシート作成の必要性を伝え、エントリーシートを作成する
5	エントリーシートの作成	エントリーシートを作成する
6	企業研究とは	企業研究をする理由を伝える
7	企業研究1	企業研究を実施し、働き先について考える
8	企業研究2	企業研究を実施し、働き先について考える
9	企業研究3	企業研究を実施し、働き先について考える

10	企業研究4	企業研究を実施し、働き先について考える
11	面接練習1	面接試験に向けての対策
12	面接練習2	面接試験に向けての対策
13	就職活動実践1	就職活動に向けてエントリーや説明会の予約を実施する。
14	就職活動実践2	就職活動に向けてエントリーや説明会の予約を実施する。
15	まとめ	振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	プレゼンテーション基礎Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	プレゼンテーション基礎Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	プリントなど		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・就職や実習はもちろん、普通の学校生活におけるコミュニケーション能力を身に付ける ・自己の意思・考えを分かり易く相手に伝える能力、相手の話を聞き主張できる能力を身に付ける ・学生が業界・職種について自ら考え発表する機会を設けることで、業界・職種への理解を高め、なりたい職業イメージを明確化する 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人前で自分の意思・考えを分かり易く話すことができる。 ・業界・職種への理解を高め、なりたい職業イメージが明確になっている。 				
評価基準	発表：70% 小テスト・提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアサポートⅠ・キャリアサポートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	市野 玲穂	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プレゼンテーションとは	傾聴とは ・アクティブリスニング
2	話す時の心構えと基本	ビクチャーフィギュア ・思考力と表現力
3	表情（表現力）	第一印象(メラビアンの法則) ・表情チェック 即題スピーチ
4	思考力1	思考力とは ・ストーリー構成の型 ・いろいろな立場
5	思考力2、表現力	ストーリー構成の三原則 ・PREP法 ・show&tell
6	自己判断、自己分析	思考力、表現力のセルフチェック ・改善点を知る
7	ディスカッション	グループディスカッションの基本
8	業界・職種・仕事内容 研究1	個人で調べ、まとめる

9	業界・職種・仕事内容 研究2	グループ内で個人発表
10	業界・職種・仕事内容 研究3	個人発表を基に、グループで調べまとめる
11	業界・職種・仕事内容 研究4	個人発表を基に、グループで調べまとめる
12	業界・職種・仕事内容 研究5	グループ毎で発表
13	発表の振り返り	思考力、表現力について自己評価、他者評価を実施
14	振り返り	内容の振り返り 確認テスト
15	即題スピーチ 前期のまとめ	長所、前期努力したこと等 前期のまとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	プレゼンテーション基礎Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	プレゼンテーション基礎Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	プリントなど		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・就職はもちろん、普通の学校生活におけるコミュニケーション能力を身につける ・自己の意思・考えを分かり易く相手に伝える能力、相手の話を聞き主張できる能力を身につける ・学生が業界・職種について自ら考え発表する機会を設けることで、業界・職種への理解を高め、なりたい職業イメージを明確化する 				
到達目標	・就職活動や職場等で人前で発表できる。				
評価基準	発表：70% 小テスト・提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアサポートⅠ・キャリアサポートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	市野 玲穂	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自分自身を知る1	4つの自分(ジョハリの窓) ・自己PR作成
2	自分自身を知る2	自己PR発表
3	自己分析1	自己分析の理解
4	自己分析2	自己分析づくり
5	就職指導1	企業研究・グループディスカッション
6	就職指導2	企業研究・グループディスカッション
7	就職指導3	企業研究・グループディスカッション
8	模擬面接1	模擬面接

9	模擬面接2	模擬面接
10	模擬面接3	模擬面接
11	発表の振り返り	自己PR、模擬面接の振り返りを実施
12	就職指導4	自分の制作物の説明・プレゼンテーション
13	就職指導5	自分の制作物の説明・プレゼンテーション
14	就職指導6	自分の制作物の説明・プレゼンテーション
15	就職指導7 振り返り・総まとめ	振り返り・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	デジタルマーケティング基礎Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	デジタルマーケティング基礎Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	ウェブの仕事力が上がる 標準ガイドブック1 Webリテラシー第3版		出版社	ポーンデジタル	

科目の基礎情報2

授業のねらい	WEBの仕組みや歴史を学びながら、必要な用語・単語を理解する。 プロデューサー/ディレクターなど、WEB制作のクリエイティブでない部分についての知識を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBに関する用語を覚える ・WEBの基礎知識(仕組み・歴史)を理解する ・WEB制作のプロセス(マネジメント/企画/デザイン)を理解する 				
評価基準	テスト：50%、確認テスト20%、授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	関 剛	実務経験		○	
実務内容	光村印刷(株) DTP(デザイナー) 5年 フリーランス DTP(デザイナー)・WEB 28年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回ガイダンス	自己紹介・教科ガイダンス
2	WEBの基礎知識1	インターネットとWEBの歴史、WWWの仕組み
3	WEBの基礎知識2	ブラウジング環境、サーバー環境
4	WEBの基礎知識3	インターネットの問題点、コミュニケーションとしてのWEB、マーケティングとしてのWEB
5	インターネットビジネス1	インターネットの市場価値と影響力、インターネットをビジネスに活かす、インターネットのビジネスモデル、インターネットのメディア特性
6	インターネットビジネス2	インターネットのデータ活用とWEBサービス、モバイルインターネット、スマートフォンアプリ、ウェアラブルデバイス、電子書籍
7	インターネットビジネス3	コーポレートコミュニケーションとWEBサイト、ブランディング、CRMについて学ぶ
8	インターネットビジネス4	実際のCRM

9	確認テスト WEBデザイン・制作実務1	第1～8回までの確認テスト テキスト素材、画像素材、写真素材、映像素材・音声素材
10	WEBデザイン・制作実務2	インラクティブコンテンツ、ビジュアルデザインの基礎、(カラースキーム)、タイポグラフィとフォント
11	WEBデザイン・制作実務3	コーポレートアイデンティティ(CI)、WEB標準の概要、(WEBサイト制作の基本言語)
12	WEBデザイン・制作実務4	WEBアクセシビリティの概要、WEBアクセシビリティ規格、プログラム関連の基礎知識
13	WEBデザイン・制作実務5	クライアントサイドプログラミング、サーバーサイドプログラミング、セキュリティ対策、新技術への対応
14	前期試験	WEBの基礎知識、インターネットビジネス、プロジェクトマネジメント、WEBサイトの企画・設計 上記を網羅したテスト
15	前期振り返り	試験回答返却・解説

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	デジタルマーケティング基礎Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	デジタルマーケティング基礎Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	ウェブの仕事力が上がる 標準ガイドブック1 Webリテラシー第3版 (プラスで下記URLより追加資料ダウンロード) https://webken.jp/media/001/202105/Web_Literacy_Saplement.pdf		出版社	ポーンデジタル	

科目の基礎情報2

授業のねらい	WEBの仕組みや歴史を学びながら、必要な用語・単語を理解する。 プロデューサー/ディレクターなど、WEB制作のクリエイティブでない部分についての知識を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集客に関する考え方で必要なツールを操作する。 ・ 実際のマーケティング手法について発表する。 				
評価基準	テスト：40%、確認テスト:20%、授業内課題：20%、授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	関 剛	実務経験		○	
実務内容	光村印刷(株) DTP(デザイナー) 5年 フリーランス DTP(デザイナー)・WEB 28年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	IoTの定義と事例1	スマート家電, ウェアラブル, 工場のセンサー等、現在のトレンドを知りながらIoTについて理解を深める
2	IoTの定義と事例2	簡易的なIoTの作成。回路・IoTデバイスを仮想で組み立てる。
3	WEBサイトの企画・設計1	WEBサイト制作のワークフロー、比較による現状分析、評価手法による現状分析
4	WEBサイトの企画・設計2	WEBサイトの狙いとゴール設定、コンテンツの企画、WEBサイト設計の概論
5	WEBサイトの企画・設計3	サイト設計書、制作仕様書、情報アーキテクチャ設計、公開と運用
6	確認テスト WEBマーケティング1	第1～5回の確認テスト WEBマーケティングの全体像、インターネット広告の形式
7	WEBマーケティング2	リスティング広告、ソーシャルメディアマーケティング
8	WEBマーケティング3	SEO(検索エンジン最適化)、LPO(ランディングページ最適化)

9	WEBマーケティング4	SEO、LPO演習課題
10	WEBマーケティング5	アクセス解析ツールと継続的な活用
11	WEBマーケティング6	ペルソナ
12	WEBマーケティング7	ペルソナ演習課題
13	WEBマーケティング8	素材・ドキュメント管理、CSS設計、オウンドメディアの活用
14	後期試験	WEBデザイン・制作実務、WEBマーケティング 上記を網羅したテスト
15	WEBマーケティング+α	Googleの各種サービスの活用

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	WEBデザイン基礎Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	WEBデザイン基礎Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	プロっばいデザインが身につく デザインのきほん		出版社	株式会社ソーテック社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	デザインの基礎を学び、実際のクリエイティブに役立つ知識を身につける。				
到達目標	デザインの基礎を理解し実施する。				
評価基準	提出物（教科書の課題作品30%＋自由作品50%） 発表20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者				
関連資格	WEBデザイン基礎Ⅱ				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	宮澤安紗美	実務経験	○		
実務内容	早川木材株式会社/インハウスデザイナー/3年 フリーランス/グラフィックデザイナー/2年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	デザインする前に	デザインを開始する前の情報整理・ラフのすすめ
2	レイアウト1	揃え・まとめ・強弱について
3	レイアウト2	余白・インパクト・躍動感など見やすいレイアウトの作り方
4	見せる読ませる文字と文章1	読みやすい文字数やサイズ・文字間について
5	見せる読ませる文字と文章2	フォントの選び方とフォントの印象
6	色と配色1	色が与える効果や組み合わせのイメージ
7	色と配色2	色相環・トーンで決める配色と印象、配色の落とし穴
8	写真とイラスト1	写真の使い方
9	写真とイラスト2	イラストの使い方

10	伝わるグラフとチャート	円グラフのデザインと伝わるチャート
11	装飾	吹き出しやリボンの装飾と定番のあしらいについて
12	課題作品1	学習に沿った制作1
13	課題作品2	学習に沿った制作2
14	課題制作3	学習に沿った制作3
15	まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	WEBデザイン基礎 II		
必修選択	必修	(学則表記)	WEBデザイン基礎 II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	現場のプロがわかりやすく教えるUI/UXデザイナー養成講座		出版社	秀和システム	

科目の基礎情報2

授業のねらい	UX/UIデザインについての知識や仕組みを身につける。				
到達目標	UX/UIデザインの知識や仕組みを理解して動かす。				
評価基準	テスト：70%、授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	宮澤安紗美	実務経験		○	
実務内容	早川木材株式会社/インハウスデザイナー/3年 フリーランス/グラフィックデザイナー/2年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	UI/UXデザインとは	UI/UXの違いやUIデザイナーの仕事について
2	デザインプロセスとリサーチ	デザイン思考・人間中心設計とデザインリサーチについて
3	定義とアイデア・コンセプト	定義するとはアイデアの出し方・コンセプト・シナリオの作り方
4	プロトタイピングと評価	プロトタイピングとは評価について（ユーザービリティテスト・ヒューリスティック評価）
5	環境とインタラクション	Webブラウザ・iOS・Androidの違い インタラクションについて
6	ナビゲーション・UIパーツ	ナビゲーション設計UIパーツ名称と用途について
7	アニメーション・ 認知心理・行動経済学	アニメーションについて・認知心理・行動経済学について
8	デザインシステム・タイポグラフィ	デザインシステムとは・タイポグラフィに必要なスキル
9	カラー・レイアウト・アイコン	カラーやレイアウト・アイコンについて

10	デザインツール紹介	デザインツール紹介とUIトレンド
11	UIデザインの作り方	UIデザインデータの作り方
12	エンジニアとの連携	エンジニアと共有する資料
13	キャリアと勉強方法	スキルマップ作成、 将来のイメージを描く
14	テスト	UXデザイン・UIデザイン 上記を網羅したテスト
15	1年間の総括	テスト解説・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	WEB制作演習基礎 A I		
必修選択	選択	(学則表記)	WEB制作演習基礎 A I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	1冊ですべて身につくHTML&CSSとWebデザイン入門講座		出版社	SBクリエイティブ	

科目の基礎情報2

授業のねらい	Webの仕組みを理解し、HTMLとCSSの役割や構造を理解し、基礎を身につける。				
到達目標	Webの仕組みを自分で説明できる HTMLを使った基礎的な制作作業ができる CSSの役割と構造を理解し説明できる CSSを使った基礎的な制作作業ができる				
評価基準	授業態度 (30%) 小テスト (30%) 期末テスト (40%)				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	Webクリエイター能力認定試験エキスパート				
関連科目	資格対策 II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宮澤安紗美	実務経験		○	
実務内容	早川木材株式会社/インハウスデザイナー/3年 フリーランス/グラフィックデザイナー/2年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Web制作の基礎	Web制作の全体像とHTML/CSSの基礎
2	HTMLの基本	HTMLの基本構造とテキスト要素
3	CSSの基本	CSSの基本とレイアウトの考え方
4	Webサイトのレイアウト	Webサイトのレイアウト作成
5	スタイルの応用	フォント・色・画像のスタイル調整
6	小テスト1	HTMLとCSSの基本知識確認
7	CSS実践演習1	架空のカフェサイトのコーディングを開始
8	フォームの作成	お問い合わせフォームの作成

9	Flexboxによるレイアウト	Flexboxによるレイアウト
10	レスポンシブデザイン	レスポンシブデザインの基礎
11	小テスト2	フォーム、Flexbox、レスポンシブデザインの知識確認
12	レスポンシブ実践演習1	既存サイトのレスポンシブ化演習
13	レスポンシブ実践演習2	レスポンシブサイトの最終調整と動作確認
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	期末テスト振り返り・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	WEB制作演習基礎 A II		
必修選択	選択	(学則表記)	WEB制作演習基礎 A II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	JavaScript本格入門		出版社	技術評論社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	JavaScriptの基礎&応用技術を学ぶ。				
到達目標	JavaScriptを使った簡単なプログラムを作成できる				
評価基準	授業態度 (30%) 小テスト (30%) 期末テスト (40%)				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	Webクリエイター能力認定試験エキスパート				
関連科目	資格対策 II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宮澤安紗美	実務経験		○	
実務内容	早川木材株式会社/インハウスデザイナー/3年 フリーランス/グラフィックデザイナー/2年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Javascript基礎1	イントロダクションJavaScriptの概要、開発環境の準備、HTMLへの組み込み方法
2	Javascript基礎2	変数とデータ型の理解let、const、varを使った変数の宣言、データ型について
3	Javascript基礎3	演算子の理解算術、代入、比較、論理演算子など
4	Javascript基礎4	制御構文の理解1条件分岐 (if、else if、else、switch)
5	Javascript基礎5	制御構文の理解2繰り返し処理 (for、while、for...of)
6	小テスト1	小テスト1：変数、データ型、演算子、制御構文の知識定着度を確認
7	Javascript基礎6	オブジェクトの理解1オブジェクトの基本概念、プロパティ、メソッド
8	Javascript基礎7	オブジェクトの理解2組み込みオブジェクトの利用
9	Javascript基礎8	関数の理解1：関数の基本、定義方法、引数と戻り値

10	Javascript基礎9	関数の理解2：アロー関数と無名関数、コールバック関数
11	Javascript基礎⑩	関数の理解3：スコープ、クロージャ、ホイスティング
12	小テスト2	小テスト2：オブジェクトと関数の知識定着度を確認
13	期末総まとめ1	期末総まとめ1：期末テストに向けた総合演習と復習
14	期末総まとめ2	期末総まとめ2：期末テスト前期の学習内容全体から期末テストを実施
15	期末総まとめ3	期末総まとめ3：テストの振り返りと総まとめ期末テストの解説と前期の総括

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	WEB制作演習基礎BⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	WEB制作演習基礎BⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	1冊ですべて身につくHTML&CSSとWebデザイン入門講座		出版社	SBクリエイティブ	

科目の基礎情報2

授業のねらい	制作物を掲載するポートフォリオサイトを作成する				
到達目標	就職活動のポートフォリオサイトを完成させる				
評価基準	授業態度 (30%) 小テスト (30%) 期末課題 (40%)				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	Webクリエイター能力認定試験エキスパート				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宮澤安紗美	実務経験		○	
実務内容	早川木材株式会社/インハウスデザイナー/3年 フリーランス/グラフィックデザイナー/2年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	応用レイアウト	応用的なCSSレイアウト
2	CSSアニメーション	CSSアニメーションとエフェクト
3	UI/UX	UI/UXの基礎と実践
4	小テスト1	応用知識の確認
5	ポートフォリオ	ポートフォリオの制作・活用
6	ポートフォリオサイト制作1	ポートフォリオサイトの企画と構成案
7	ポートフォリオサイト制作2	デザインに基づいたコーディング開始
8	ポートフォリオサイト制作3	サイトの主要コンテンツのコーディングと調整
9	小テスト2	制作サイトの進捗確認

10	ポートフォリオサイト制作4	レスポンス対応の完了
11	Webサイト公開	Webサイトの公開準備
12	ポートフォリオサイト制作5	最終調整とデバッグ
13	ポートフォリオサイト制作6	サイト制作の最終作業
14	期末課題	制作したオリジナルサイトの提出と発表
15	総括	制作の振り返り・総括

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	WEB制作演習基礎 B II		
必修選択	選択	(学則表記)	WEB制作演習基礎 B II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	JavaScript本格入門		出版社	技術評論社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	JavaScriptの基礎&応用技術を身につける。				
到達目標	Javascriptを使った簡単なプログラムを作成できる				
評価基準	授業態度 30% 小テスト 30% 期末課題(ポートフォリオ掲載作品制作) 40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	Webクリエイター能力認定試験エキスパート				
関連科目	資格対策 II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宮澤安紗美	実務経験	○		
実務内容	早川木材株式会社/インハウスデザイナー/3年 フリーランス/グラフィックデザイナー/2年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JavaScript応用1	JavaScript応用1：Promiseの基本構造
2	JavaScript応用2	JavaScript応用2：イベントの伝播
3	JavaScript応用3	JavaScript応用3：class構文の基礎、継承
4	JavaScript応用4	JavaScript応用4：importとexportの使い方
5	JavaScript応用5	小テスト
6	ポートフォリオ掲載作品制作1	【期末課題】ウェブアプリケーション制作1：企画・設計
7	ポートフォリオ掲載作品制作2	【期末課題】ウェブアプリケーション制作2：開発（機能実装）
8	ポートフォリオ掲載作品制作3	【期末課題】ウェブアプリケーション制作3：開発（機能実装）
9	ポートフォリオ掲載作品制作4	【期末課題】ウェブアプリケーション制作4：開発（機能実装）

10	ポートフォリオ掲載作品制作5	【期末課題】ウェブアプリケーション制作5：開発（機能実装）
11	ポートフォリオ掲載作品制作6	【期末課題】ウェブアプリケーション制作6：課題進捗確認とアドバイス
12	ポートフォリオ掲載作品制作7	【期末課題】ウェブアプリケーション制作7：最終調整
13	ポートフォリオ掲載作品制作8	【期末課題】ウェブアプリケーション制作8：発表準備
14	課題提出	期末課題の提出と発表
15	ポートフォリオ掲載作品制作9	振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	グラフィック演習基礎AⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	グラフィック演習基礎AⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	世界一わかりやすいIllustrator 操作とデザインの教科書[改定4版]		出版社	技術評論社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	デザイナーにとっての必須ソフトであるIllustratorの基礎から操作技術及び知識を身につける				
到達目標	Illustratorの基本操作の理解、イラスト等ベクターデータを扱った基礎的な課題をこなせる技術を応用する				
評価基準	テスト50%、提出物25% 授業態度25%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	グラフィック演習基礎AⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宮本和佐	実務経験		○	
実務内容	フリーランス/イラストレーター 株式会社 山田クリエイティブ/1年 有限会社 安全工房/2年 日本経済新聞社電子メディア部/3年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回ガイダンス、Illustratorの基本、図形を描く	授業の目的、到達目標など、01)Illustratorの基礎知識、02)図形の基本
2	線を描く、フリーハンドで描く	03)線の基本、04)フリーハンド系ツールの使い方
3	オブジェクトの変形	05)オブジェクトとは
4	オブジェクトの編集	06)レイヤー、オブジェクト
5	オブジェクトの合成	07)オブジェクトの使い方
6	色の設定	08)色の知識、使い方
7	線の設定	09)線の知識、使い方
8	文字を扱う	10)文字設定

9	透明の設定	11)不透明度とは
10	名刺制作	学んだツールの復習を兼ねて、自分の名刺を制作する（教科書にはありません）
11	出力データの作成	15)使用目的に合わせた出力データの作り方 可能なら名刺を印刷用データにして、プリントアウト
12	リアルなデザインのための機能 表やグラフを描く	12)様々な機能 13)表、グラフの使い方
13	高度な変形	14)効果、エンベロープ、ブレンドの使い方
14	テスト	前期実施の内容について確認テストを実施
15	テスト返却	テスト返却と解説

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	グラフィック演習基礎A II			
必修選択	選択	(学則表記)	グラフィック演習基礎A II			
開講					単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30	
使用教材	世界一わかりやすいIllustrator 操作とデザインの教科書[改定4版]		出版社	技術評論社		

科目の基礎情報2

授業のねらい	クリエイティブの現場でかせない、Illustratorを使いこなし、ありとあらゆる制作技術を身につける。				
到達目標	IllustratorとPhotoshopの両方のアプリケーションを組み合わせて使い、より複雑な画像加工技術作品を作ることができる。 A4～A3程度の大きさの作品が作れるようになる。				
評価基準	提出物（教科書の課題作品30% + 自由作品50%） 発表20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	グラフィック演習基礎A I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宮本和佐	実務経験		○	
実務内容	フリーランス/イラストレーター 株式会社 山田クリエイティブ/1年 有限会社 安全工房/2年 日本経済新聞社電子メディア部/3年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	手描きに見える加工をする	ペンキのようなデザインを作る。クレヨンのようなデザインを作る。インクのような加工をする。
2	アナログの加工をする 光の加工を施す	ラベルを作る。ダイヤモンドの輝きを作る。
3	テクスチャを作る	レースのテクスチャを作る。鉛筆風のイラストを作。ペンのイラストを作る。
4	イラストを作る	植物のデザインを作る。花のデザインを作る。
5	イラストを作る	リボンを作る。切り絵のようなイラストを作る。
6	イラストを作る	リアルなスマートフォンを作る。画像トレースを使ったリアルなイラストを作る。
7	文字と線に加工をする	手描きの文字を作る。色鉛筆のような文字を作る。

8		
9	作品制作	紙媒体に関する自由課題に取り組む。
10	発表	制作した作品をプレゼンする。
11		
12	作品制作	紙媒体に関する自由課題に取り組む。
13	発表	制作した作品をプレゼンする。
14	ブラッシュアップ	制作物またはポートフォリオをブラッシュアップし、作品展へ出す場合はプレゼンパネルの制作をする。
15	作品展の反省とポートフォリオ	作品展の感想・反省点をまとめる、ポートフォリオの見直しをする。

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	グラフィック演習基礎BⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	グラフィック演習基礎BⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	動画でわかる！1週間のPhotoshop入門 作品づくりをなぞって身につく基本スキル		出版社	インプレス	

科目の基礎情報2

授業のねらい	Photoshopの基礎から操作技術及び知識を身につける。Figmaの基本操作を身につける				
到達目標	Photoshopの基本操作の理解、画像加工を中心とした基礎的な技術を習得する。 WEBサイト制作に適したデザインツールとしての役割を担うFigmaの基本操作を身につける。				
評価基準	テスト40%、課題制作・発表40% 提出物20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	グラフィック演習基礎BⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宮本和佐	実務経験	○		
実務内容	フリーランス/イラストレーター 株式会社 山田クリエイティブ/1年 有限会社 安全工房/2年 日本経済新聞社電子メディア部/3年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回ガイダンス	授業の目的、到達目標など、Photoshopの基礎知識、レイヤー、マスクの紹介
2	レイヤーマスクで早速作品を作ろう	DAY1「SFをテーマにしたポスター作品」
3	選択ツールで切り抜こう	DAY2「不思議の国のアリスをモチーフにたくさんの画像を入れた作品」
4		選択ツール
5	複雑なモノの切り抜きを攻略しよう	DAY3「天使をテーマに神秘的な作品」
6		複雑な切り抜き
7	変形ツールを覚えよう	DAY4「古いフライヤーをイメージした作品」、変形ツール

8		DAY5 「イラストのような平面的な作品」
9	ペイント系ツールを覚えよう	ブラシツール、塗りつぶし&グラデーション
10	修復ツールで補正しよう	DAY6 「主役の被写体が大きく配置された印象的な作品」、修復ツール
11	テスト	DAY7 「洋画ポスター風の作品」提出（各自で作成）をテストの代わりとし、次の時間に解説
12		Figmaの8つの特徴を通して、基本操作を学びましょう。
13	Figmaの準備と基本機能	1.フレーム (Frames) 2.制約 (Constraints) 3.コンポーネント (Components) 4.スタイル (Styles) 5.スマートセレクション (Smart Selection) 6.エクスポート (Exporting) 7.コメント (Commenting) 8.共有 (Sharing)
14	Figmaで自己紹介ページを制作	Figmaで自己紹介ページを制作(掲載したい内容を決めて写真など各自準備しておく)
15	Figmaで制作した自己紹介ページをプレゼン	Figmaで自己紹介ページのプレゼンをする

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	グラフィック演習基礎B II		
必修選択	選択	(学則表記)	グラフィック演習基礎B II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	Photoshop & Illustratorデザインテクニック大全 [増補完全版]		出版社	SBクリエイティブ	

科目の基礎情報2

授業のねらい	クリエイティブの現場で欠かせないPhotoshopを活用し、ありとあらゆる制作技術を身に着ける				
到達目標	IllustratorとPhotoshopの両方のアプリケーションを組み合わせ使い、より複雑な画像加工技術の作品を作ることができる A4～A3程度の大きさの作品を作ることができる				
評価基準	提出物（教科書の課題作品30% + 自由作品50%） 発表20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	グラフィック演習基礎A I、グラフィック演習基礎B I、グラフィック演習基礎B II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	宮本和佐	実務経験		○	
実務内容	フリーランス/イラストレーター 株式会社 山田クリエイティブ/1年 有限会社 安全工房/2年 日本経済新聞社電子メディア部/3年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新機能やアイデアで作る	01)広告やポスターのように目を引くデザインを、新機能や定番機能を使って作る。
2	リアルな質感を表現する	02)炎、水、雪、氷、雲、金属、ガラス、雷など、リアルな質感を作っていきます。レイヤースタイル、フィルターを使って再現する方法を学ぶ。
3	手書きに見える加工をする	03)手描きの質感を作る。フィルターの重ね合わせ、ブラシ、指先ツールなどを使い手描き感を再現する方法を学ぶ。
4	アナログの加工をする	04)アナログの加工を作る。フィルターやレイヤースタイルを使って再現する方法を学習する。
5	光の加工を施す	05)光の加工を作る。また、斜光や逆光、昼を夜にするなど、風景の演出に効果的なテクニックを学習する。
6	テクスチャを作る	06)ファー、布、和紙、カンパス、スクリーントーン、グラデーション、レース、ドットパターンなど様々なテクスチャを作る。写真素材なしで作れるものも多く手軽に再現する。
7	文字と線に加工をする	07)氷のように見せたり、ケチャップのように表現したり、切り抜き、からめる、縫い目、ジッパー、スライス、立体など、文字や線を様々な印象に見せるテクニックを学ぶ。

8	様々な表現をする	09) コラージュや写真の合成、美しいマットな質感など、今まで学んだ様々なテクニックを駆使した、難易度の高い作例を作る。
9		
10	作品制作	PhotoshopとIllustratorやFigmaを組み合わせた自由課題に取り組む。
11		
12		
13	発表	制作した作品をプレゼンする。
14	ブラッシュアップ	制作物またはポートフォリオをブラッシュアップする。作品展へ出す場合はプレゼンパネルの制作をする。
15	作品展の反省とポートフォリオ	ポートフォリオの見直しをする。作品展の感想、反省点をまとめる。

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	プログラミング基礎Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	プログラミング基礎Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	AI、クロステックについて当事者意識をもって学ぶためのマインドを身に付けさせる。				
到達目標	ITが非IT分野にどのように影響を与えることができるのかについて説明できる。 先端技術（クラウド、ビッグデータ、AI）の持つ機能とメリットについて説明できる。 現在使用されている無形商材、IT×他分野を知ることで、ITに関する職業の理解を高める。				
評価基準	授業態度70% レポート30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	多田浩規	実務経験		○	
実務内容	日本自動化開発株式会社/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/3年 フリーランス/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/4年 フリーランス/PM（プロジェクトマネージャー）/1年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ITがもたらす現在と未来Ⅰ	ITが現代の社会にどのような影響をもたらしたかを知る。 ITスキルを学び、活かすことの重要性を知る。
2	AI入門1	AIを活用していくために、AIとは何か、使用されてきた歴史などを踏まえて学ぶ。
3	AI入門2	現在のAIとして使用されている、「強化学習」、「教師あり学習」、「教師なし学習」について身近なものを通してAIが馴染みあるものであることと仕組みを理解する。
4	AI入門3	普段使用するクラウドについて理解し、現在の世の中に使用されているサービスモデルについて理解する。
5	AI入門4	「ニューラルネットワーク」について、原理や活用事例について学ぶ（ビッグデータについて理解する。）
6	AI入門5	現在のAIとして使用されている、「強化学習」、「教師あり学習」、「教師なし学習」、「ニューラルネットワーク」についてアウトプットする。
7	グループワーク1	AIをテーマにして、これまでに学んだ内容をグループ内で整理して文書にまとめて発表を行う。

8	グループワーク2	AIをテーマにして、これまでに学んだ内容をグループ内で整理して文書にまとめて発表を行う。
9	クロステック事例紹介Fintech1	Fintechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
10	クロステック事例紹介Fintech2	Fintechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
11	クロステック事例紹介Fintech3	Fintechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
12	クロステック事例紹介Fintech4	Fintechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
13	クロステック事例紹介Fintech5	Sportstechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
14	グループワーク	Fintechをテーマに自分たちの身近な問題を見つけて、先端技術を用いてどのように解決できるか、そしてビジネスに繋げられるかをグループ内で考える。
15	グループワーク	Fintechをテーマに自分たちの身近な問題を見つけて、先端技術を用いてどのように解決できるか、そしてビジネスに繋げられるかをグループ内で考える。

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	プログラミング基礎Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	プログラミング基礎Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	AI、クロステックについて当事者意識をもって学ぶためのマインドを身に付ける。				
到達目標	ITが非IT分野にどのように影響を与えることができるのかについて説明できる。 先端技術（クラウド、ビッグデータ、AI）の持つ機能とメリットについて説明できる。 現在、使用されている無形商材、IT×他分野を知ることによってITに関する職業の理解を高める。				
評価基準	授業態度70% レポート30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	多田浩規	実務経験		○	
実務内容	日本自動化開発株式会社/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/3年 フリーランス/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/4年 フリーランス/PM（プロジェクトマネージャー）/1年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	クロステック事例Sportstech1	Sportstechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
2	クロステック事例Sportstech2	Sportstechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
3	クロステック事例Sportstech3	Sportstechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
4	クロステック事例Sportstech4	Sportstechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
5	クロステック事例Medtech1	Medtechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
6	クロステック事例Medtech2	Medtechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
7	クロステック事例Medtech3	Medtechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める

8	クロステック事例Medtech4	Medtechをテーマに、クロステックの事例紹介を行う。 現在使われている技術や事業を紹介し、クロステックについての理解を深める
9	ディープラーニング体験	Google Colaboratoryを使用し、手書き認識のニューラルネットワークを体験する。
10	発表準備	これまで学習した新技術たちの活用方法を考え、ビジネスとのクロステックを発表する準備を行う。
11	発表準備	これまで学習した新技術たちの活用方法を考え、ビジネスとのクロステックを発表する準備を行う。
12	発表	新技術を用いたビジネスを発表する。
13	期末課題	これまで学んできた来た内容についてテーマを選び、レポートを作成する。
14	期末課題	これまで学んできた来た内容についてテーマを選び、レポートを作成する。
15	まとめ	全体を通してのまとめ。

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プログラミング演習基礎 A I		
必修選択	選択	(学則表記)	プログラミング演習基礎 A I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	プログラミングとIT業界の基礎知識を習得する				
到達目標	IT業界で必要な姿勢を習得したうえで模擬システムの製造ができる。				
評価基準	演習：30% レポート：40% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	プログラミング演習基礎A II、プログラミング演習基礎B I、プログラミング演習基礎B II				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	多田浩規	実務経験	○		
実務内容	日本自動化開発株式会社/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/3年 フリーランス/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/4年 フリーランス/PM（プロジェクトマネージャー）/1年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ガイダンス	ガイダンス（言語化の大事さ）、アイスブレイク、目的意識への気付き
2		
3	プログラミング概要	プログラミングで作れるもの、プログラミングに必要なスキル、フロントエンドとバックエンド
4		
5	HTML概要	HTMLのイメージを知る
6		
7	HTML演習	HTMLを理解し、Webページを作成する
8		

9		
10	デザイン概要	デザイン (UI、CSS)
11		
12	IT業界概要	IT業界における技術変化、正解がある仕事とない仕事、最適解を求める姿勢、ノートの取り方
13		
14	ITエンジニア概要	ITエンジニアに必要な能力 (学び続ける力、質問する力、調べる力、考える力、期限を守る力、伝える力)、持っている仕事で楽になる能力 (タイピング)
15		
16	質問と業務	質問することの必要性、質問することのメリット、質問しないことのデメリット
17		
18	コミュニケーションと関係構築	やりとりを通じた関係構築、相手の発言の受け止め方
19		
20	ヒアリング演習	上手な質問と下手な質問の違い、模擬ヒアリング (ロールプレイング)
21		
22	傾聴とコミュニケーション	聴くことの重要性、傾聴の姿勢、聴き手と話し手の関係構築、メモの効果
23		
24	インターネット検索概要	1調べることの必要性、よく使う調べ方の振り返り、インターネット検索ツールの紹介、インターネット検索ツールの利用方法、ほしい情報を効率的に手に入れるテクニック、検索結果一覧からの選び方 2Webページ内検索の方法、外国語のWebページの調べ方、キーワード順の違いによる検索結果の違い、情報源の種類 (ネットリテラシー)
25		
26	調査演習	模擬調査
27		
28	インプットとアウトプット	考えることの必要性、インプットとアウトプット、考えるためのステップ (状況把握、仮定、検証)
29		
30	仮説思考	状況把握のコツ、仮定のコツ、検証のコツ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プログラミング演習基礎 A II		
必修選択	選択	(学則表記)	プログラミング演習基礎 A II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	プログラミングとIT業界の基礎知識を習得する				
到達目標	IT業界で必要な姿勢を習得したうえで模擬システムの製造ができる。				
評価基準	演習：30% レポート：40% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	プログラミング演習基礎A I、プログラミング演習基礎B I、プログラミング演習基礎B II				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	多田浩規	実務経験	○		
実務内容	日本自動化開発株式会社/SE (システムエンジニア) ・PG (プログラマー) /3年 フリーランス/SE (システムエンジニア) ・PG (プログラマー)/4年 フリーランス/PM (プロジェクトマネージャー) /1年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	個人オリジナルサイト作成演習1	個人オリジナルサイト作成、進捗報告会
2		
3	個人オリジナルサイト作成演習2	個人オリジナルサイト作成、進捗報告会
4		
5	個人オリジナルサイト作成演習3	個人オリジナルサイト作成、進捗報告会
6		
7	個人オリジナルサイト作成演習4	個人オリジナルサイト作成、進捗報告会
8		

9	成果報告会	成果報告会
10		
11	システム開発概要	システム開発の流れ、チーム内での「報告、連絡、相談」の仕方
12		
13	開発演習概要	演習説明、スケジュール設計、進捗報告会
14		
15	スケジュール設計	スケジュール設計、進捗報告会
16		
17	要件定義	要件定義、進捗報告会
18		
19	設計Ⅰ	設計、進捗報告会
20		
21	設計Ⅱ	設計、進捗報告会
22		
23	製造Ⅰ	製造、進捗報告会
24		
25	製造Ⅱ	製造、進捗報告会
26		
27	製造Ⅲ	製造、進捗報告会
28		
29	製造Ⅳ	製造、進捗報告会
30		

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プログラミング演習基礎 B I		
必修選択	選択	(学則表記)	プログラミング演習基礎 B I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	プログラミングとIT業界の基礎知識を習得する				
到達目標	IT業界で必要な姿勢を習得したうえで模擬システムの製造ができる				
評価基準	演習：30% レポート：40% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	プログラミング演習基礎A I、プログラミング演習基礎A II、プログラミング演習基礎B II				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	多田浩規	実務経験	○		
実務内容	日本自動化開発株式会社/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/3年 フリーランス/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/4年 フリーランス/PM（プロジェクトマネージャー）/1年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	個人オリジナルサイト作成演習Ⅰ	個人オリジナルサイト作成、進捗報告会
2		
3	個人オリジナルサイト作成演習Ⅱ	個人オリジナルサイト作成、進捗報告会
4		
5	個人オリジナルサイト作成演習Ⅲ	個人オリジナルサイト作成、進捗報告会
6		
7	個人オリジナルサイト作成演習Ⅳ	個人オリジナルサイト作成、進捗報告会
8		

9	成果報告会	成果報告会
10		
11	システム開発概要	システム開発の流れ、チーム内での「報告、連絡、相談」の仕方
12		
13	開発演習概要	演習説明、スケジュール設計、進捗報告会
14		
15	スケジュール設計	スケジュール設計、進捗報告会
16		
17	要件定義	要件定義、進捗報告会
18		
19	設計 I	設計、進捗報告会
20		
21	設計 II	設計、進捗報告会
22		
23	製造 I	設計、進捗報告会
24		
25	製造 II	製造、進捗報告会
26		
27	製造 III	製造、進捗報告会
28		
29	製造 IV	製造、進捗報告会
30		

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プログラミング演習基礎 B II		
必修選択	選択	(学則表記)	プログラミング演習基礎 B II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	プログラミングとIT業界の基礎知識を習得する				
到達目標	IT業界で必要な姿勢を習得したうえで模擬システムの製造ができる。				
評価基準	演習：30% レポート：40% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	プログラミング演習基礎A I、プログラミング演習基礎A II、プログラミング演習基礎B I				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	多田浩規	実務経験	○		
実務内容	日本自動化開発株式会社/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/3年 フリーランス/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/4年 フリーランス/PM（プロジェクトマネージャー）/1年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	製造 I	製造、進捗報告会
2		
3	製造 II	製造、進捗報告会
4		
5	製造 III	製造、進捗報告会
6		
7	製造 IV	製造、進捗報告会
8		

9		
10	テスト I	テスト、進捗報告会
11		
12	テスト II	テスト、進捗報告会
13		
14	プレゼンテーション概要	伝えることの重要性、プレゼンテーションのコツ
15		
16	報告準備 I	報告資料作成の説明、報告資料作成、進捗報告会
17		
18	報告準備 II	報告資料作成の説明、報告資料作成、進捗報告会
19		
20	報告準備 III	報告資料作成
21		
22	報告リハーサル	報告リハーサル
23		
24	チーム成果報告会 I	チーム成果報告会
25		
26	チーム成果報告会 II	チーム成果報告会
27		
28	チーム成果報告会 III	チーム成果報告会
29		
30	まとめ	まとめ、ゴール振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	PC演習基礎Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	PC演習基礎Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	130時間でマスターWord2021 230時間でマスターExcel2021 3MOSよくわかるマスターExcel2021 4MOSよくわかるマスターWord2021			出版社	12実教出版 34FOM出版

科目の基礎情報2

授業のねらい	word、Excelの基礎を学び基本的な操作をで習得する。				
到達目標	Wordを活用し基本的な文書を作成できる。 表計算の基本的な操作ができる。				
評価基準	テスト70% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)、マイクロソフトオフィスエキスパート(MOS)				
関連科目	PC演習基礎Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	江藤 菜月 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1章 Windows10の基礎	授業の目的、態度目標、授業スケジュール、入力練習、マウスの操作
2	タイピング基礎 2章 Word入門	ホームポジションでのキーボード入力、記号や特殊な文字の入力、変換基礎
3	入力復習 3章 Wordの基礎	複写・削除・移動、編集機能（文字書式と段落書式）、表の基礎
4	文書作成振り返り 4章 Wordの活用	表の作成応用、オブジェクトの挿入(アイコン、3Dモデル、オンライン画像)、文書作成まとめ
5	文書作成振り返り	文書作成振り返り
6	文書作成まとめ	文書作成振り返り、文書作成前期テスト
7	2章 Excel入門	Excelとは、文字・数字の入力、オートSUM、四則演算、グラフの作成、オートフィル
8	3章 ワークシートの活用(1)	前週の振り返り、表の編集、平均値、書式設定、罫線

9	4章 ワークシートの活用(1)1	絶対参照、IF関数、ROUND関数
10	4章 ワークシートの活用(1)2	RANK関数、条件付き書式、関数振り返り
11	表計算振り返り	表計算振り返り
12	表計算まとめ	表計算振り返り、表計算前期テスト
13	オリエンテーション MOSとは	MOSの出題範囲、勉強方法、問題集やCD-ROMの扱い方
14	MOSExcel 出題範囲11 (ワークシートやブックの管理)	ブック内を移動、ワークシートやブックの書式を設定、オプションと表示のカスタマイズ
15	MOSExcel 出題範囲12 (ワークシートやブックの管理)	共同作業のためのコンテンツ、ブックにデータのインポート、確認問題

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	PC演習基礎Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	PC演習基礎Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	30
使用教材	MOSよくわかるマスターExcel2021 MOSよくわかるマスターWord2021		出版社	FOM出版	

科目の基礎情報2

授業のねらい	MOSのWord、Excelの試験の内容を学び、応用的な操作を習得する。				
到達目標	MOS Excel合格レベルの知識を理解する。 MOS Word合格レベルの知識を理解する。				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)、マイクロソフトオフィスエキスパート(MOS)				
関連科目	PC基礎演習A				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	江藤 菜月 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	MOSExcel 出題範囲1 (セルやセル範囲のデータ管理)	シートのデータの操作、セルやセル範囲の書式設定
2	MOSExcel 出題範囲2 (セルやセル範囲のデータ管理)	名前付き範囲を定義・参照、データを視覚的にまとめる、確認問題
3	MOSExcel 出題範囲3 (テーブルのデータ管理)	テーブルの作成・書式設定、テーブルを変更、テーブルでのフィルタ・並べ替え、確認問題
4	MOSExcel 出題範囲41 (数式や関数を使用した演算)	参照を追加、データの計算・加工
5	MOSExcel 出題範囲42 (数式や関数を使用した演算)	文字列の変更・書式設定
6	MOSExcel 出題範囲5 (グラフの管理)	グラフの作成・変更、グラフの書式設定
7	MOSExcel 模擬問題1	模擬試験プログラム1の実施、復習
8	MOSExcel 模擬問題2	模擬試験プログラム2の実施、復習
9	MOSExcel 模擬問題3	模擬試験プログラム3の実施、復習

10	MOSWord 出題範囲1 (文書の管理)	文書内の移動、文書の書式設定、文書を保存・共有、文書を検査
11	MOSWord 出題範囲2 (文字、段落、セクションの挿入)	文字列や段落を挿入、文字列や段落の書式設定、文字にセクションを作成・設定
12	MOSWord 出題範囲3 (表やリストの管理)	表の作成・変更、リストを作成・変更
13	MOSWord 出題範囲4 (参考資料の作成と管理)	参照のための要素・一覧を作成管理する
14	MOSWord 出題範囲5 (グラフ要素の挿入と書式設定)	図やテキストボックスの挿入・書式設定、グラフィックス要素にテキストを追加・変更
15	MOSWord 出題範囲6 (文書の共同作業の管理)	コメントを追加・管理、変更履歴を管理

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	システム設計Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	システム設計Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	Webディレクションの新・標準ルール 改訂第3版		出版社	エムディエヌコーポレーション	

科目の基礎情報2

授業のねらい	Webディレクション業務の基礎からプロジェクトマネジメント、クライアントへのヒアリングや要件定義、企画立案、サイト設計から運用までWebプロデューサー／ディレクターに必要な知識を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Webディレクション業務の環境や現場に合わせた進行管理を理解する。 企画立案、構造設計、コンテンツ設計について理解する。 企画書／ワイヤーフレーム作成方法を習得する。 				
評価基準	テスト：60%、提出課題：20%、授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	システム設計Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	関 剛	実務経験		○	
実務内容	光村印刷(株) DTP(デザイナー) 5年 フリーランス DTP(デザイナー)・WEB 28年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、到達目標など、Webディレクション基礎知識とは
2	Webディレクション基礎1	Web制作におけるトレンドと新技術、プロジェクトの工程管理を学ぶ
3	Webディレクション基礎2	Webサイトの代表的なパターンと目的、社内ディレクターの役割を学ぶ
4	Webディレクション基礎3	事業者と業務委託会社の担当範囲、個人情報保護について
5	Webサイト企画1	ヒアリング方法、企画の発想法とアイデアを練るテクニックを学ぶ
6	Webサイト企画2	UXについて学ぶ
7	Webサイト企画3	提案書、要件定義について学ぶ
8	Webサイト企画4、小テスト	工数の計算、概算見積りの作成と工程変更への対応、小テスト

9	企画立案1	クライアントワークを想定してWebサイトの企画書作成、提出
10	Webサイト設計1	設計フェーズにおけるワークフロー、メンバーの意識を高めるチーム作りを学ぶ
11	Webサイト設計2	タスクの構造化とスケジュール、フロー図について
12	Webサイト設計3	ワイヤーフレーム、コピーライティングの方法を学ぶ
13	Webサイト設計4	プロトタイピングツール、デザインガイドラインの策定、SNSについて
14	前期試験	Webディレクション業務の基礎、プロジェクトマネジメント、Webサイトの企画・設計から出題
15	前期振り返り	試験回答返却・解説

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	システム設計Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	システム設計Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	1	15
使用教材	Webディレクションの新・標準ルール 改訂第3版		出版社	エムディエヌコーポレーション	

科目の基礎情報2

授業のねらい	Webディレクション業務の基礎からプロジェクトマネジメント、クライアントへのヒアリングや要件定義、企画立案、サイト設計から運用までWebプロデューサー/ディレクターに必要な知識を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Webディレクション業務の環境や現場に合わせた進行管理ができる。 企画立案、構造設計、コンテンツ設計について説明できる。 企画書/ワイヤーフレーム作成方法を説明できる。 				
評価基準	テスト：60%、提出課題：20%、授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	関 剛	実務経験		○	
実務内容	光村印刷(株) DTP(デザイナー) 5年 フリーランス DTP(デザイナー)・WEB 28年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Webサイト設計1	システム設計、SEO設計、Web制作のフレームワークとは
2	Webサイト設計2	CMS、ECカート、MAツールについて学ぶ
3	Webサイト設計3	クラウドサービス、開発環境、Webサイトにおけるテスト設計とは
4	設計立案1	前期の企画立案1で作成した企画書に基づいてワイヤーフレームの作成
5	設計立案2、課題提出	前期の企画立案12で作成した企画書に基づいてワイヤーフレームの作成、提出
6	制作マネジメント1	コミュニケーション、スケジュールの管理、制作マニュアルについて学ぶ
7	制作マネジメント2	リモート環境でのデータ管理ツール、進捗管理について
8	制作マネジメント3	プロジェクト内容の確認や現場の状況変化に合わせた対応を学ぶ

9	制作マネジメント4、小テスト	テストを効率化するツール、Webサイトの公開、小テスト
10	Webサイトの運用1	社内マネジメント、ヒューマンエラーについて学ぶ
11	Webサイトの運用2	ノーコードツール、企業SNS運用、動画マーケティングについて学ぶ
12	Webサイトの運用3	PDCAサイクル、Web解析ツール、Googleの解析ツールについて
13	Webサイトの運用4	問題課題、リニューアル、制作会社の移管について
14	後期試験	Webサイトの企画・設計、制作マネジメント、Webサイトの運用から出題
15	前期振り返り	試験回答返却・解説

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	アルゴリズム基礎知識Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	アルゴリズム基礎知識Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	2	30
使用教材	Pythonで作って学べる ゲームのアルゴリズム入門		出版社	ソーテック社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	処理の流れ図（フローチャート）を書きながら、アルゴリズムの考え方を習得する。 実際にプログラミングして理解を深めるために、Pythonの基本的な知識を学ぶ。				
到達目標	アルゴリズムとプログラミングの関係と概要について説明できる。 Pythonを実行する環境を作成することができる。 条件分岐や繰り返しといった、プログラミングでも基本的な処理を理解して、流れ図を作成することができる。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	アルゴリズム基礎知識Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	多田浩規	実務経験		○	
実務内容	日本自動化開発株式会社/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/3年 フリーランス/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/4年 フリーランス/PM（プロジェクトマネージャー）/1年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1章 プログラミングとアルゴリズム	アルゴリズムとプログラムの概要、Pythonの開発環境構築
2	2-1,2章 プログラミングの基礎	【流れ図】流れ図の概要と書き方、順次構造、変数、演算子
3	2-1,2章 プログラミングの基礎	【プログラミング】入力と出力、変数、演算子
4	2-3章 プログラミングの基礎	【流れ図】選択構造（条件分岐）
5	2-3章 プログラミングの基礎	【プログラミング】選択構造（条件分岐）
6	2-4章 プログラミングの基礎	【流れ図】繰り返し構造（繰り返し）
7	2-4章 プログラミングの基礎	【プログラミング】繰り返し構造（繰り返し）

8	2-6章 プログラミングの基礎	【流れ図】配列 (リスト)
9	2-6章 プログラミングの基礎	【プログラミング】配列 (リスト)
10	2-6章 プログラミングの基礎	関数
11	2-6章 プログラミングの基礎	関数
12	まとめ	テスト実施
13	3-1,2,3章 ミニゲームをつくろう	CUIとGUI、乱数、単語入力ゲームの作成
14	3-4章 ミニゲームをつくろう	ミニゲームの作成
15	3-4章 もぐら叩きゲームを作ろう	もぐら叩きゲームの作成

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	アルゴリズム基礎知識Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	アルゴリズム基礎知識Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	2	30
使用教材	Pythonで作って学べる ゲームのアルゴリズム入門		出版社	ソーテック社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	身近なゲームのPythonプログラムに触れながら、実践的なアルゴリズムについて身につける。				
到達目標	アルゴリズムの探索や整列の内容と各手法の違いが説明できる。 プログラミングをする上で必要な論理的に説明できる。				
評価基準	テスト40%、提出物40%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	アルゴリズム基礎知識Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	多田浩規	実務経験	○		
実務内容	日本自動化開発株式会社/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/3年 フリーランス/SE（システムエンジニア）・PG（プログラマー）/4年 フリーランス/PM（プロジェクトマネージャー）/1年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	配列を用いた最大値・最小値の探索	配列を用いた最大値・最小値の探索の概要 4章 キャンパスに図形を描こう
2	4章 キャンパスに図形を描こう	配列を用いた最大値・最小値の探索の練習 4章 キャンパスに図形を描こう
3	線形探索法	線形探索の流れ図 5章 三目並べを作ろう
4	5章 三目並べを作ろう	線形探索の練習 5章 三目並べを作ろう
5	二分探索法 5章 三目並べを作ろう	二分探索法の概要 5章 三目並べを作ろう
6	二分探索法 6章 神経衰弱を作ろう	二分探索法の練習 6章 神経衰弱を作ろう

7		選択ソート（基本選択法）の流れ図 6章 神経衰弱を作ろう
8	選択ソート（基本選択法） 6章 神経衰弱を作ろう	選択ソート（基本選択法）の練習 6章 神経衰弱を作ろう
9		バブルソート（基本交換法）の概要 6章 神経衰弱を作ろう
10		バブルソート（基本交換法）の練習 7章 リバースを作ろう～前編～
11	バブルソート（基本交換法） 7章 リバースを作ろう～前編～	挿入ソート（基本挿入法）の概要 7章 リバースを作ろう～前編～
12		挿入ソート（基本挿入法）の練習 7章 リバースを作ろう～前編～
13	流れ図振り返り 8章 リバースを作ろう～後編～	流れ図振り返り 8章 リバースを作ろう～後編～
14	まとめ	テスト
15	8章 リバースを作ろう～後編～	8章 リバースを作ろう～後編～

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	資格対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	資格対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEBデザイン・ITビジネス科	4	60
使用教材	色彩活用ライフケアカラー検定 公式テキスト 色彩学		出版社	一般社団法人日本カラーコーディネーター協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	色彩の効果を活用したデザインを制作できる。 デザイン制作物について色彩の観点からストーリーを構築し、プレゼンテーションできる。 デザイン業界で働く上で、カラーデザインに関する意思疎通がスムーズに行える。				
到達目標	色彩活用ライフケアカラー検定レベルの色の性質や表示方法、色の効果や組み合わせ方の違いによるイメージ表現など、「色を使う」ために必要な色彩学の基礎を理解する。 目的に合った配色提案とカラーデザインの説明ができるようになる。				
評価基準	期末テスト40%、小テスト・課題40%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	色彩活用ライフケアカラー検定 色彩学				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	関 剛	実務経験		○	
実務内容	光村印刷(株) DTP(デザイナー) 5年 フリーランス DTP(デザイナー)・WEB 28年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 第1章全般	なぜ色彩の知識が必要なのかを知る
2	色のしくみ、色名	色の三属性について理解する 色名の種類を知る
3	PCCSの三属性	色を記号や番号で表すシステムについて知る
4	PCCSのトーン	PCCSの特徴であるトーンについて理解する
5	色の心理的効果	色の心理的効果を知る
6	色のイメージと効果、色はなぜ見える	色の持つ代表的なイメージを知る 科学的に色は光であることを理解する
7	復習確認テスト1	ここまでの内容をどの程度理解できたか確認する

8	配色1	配色の基本的な方法を知る「色相を基準にした配色（色相統一）」
9	配色2	「色相を基準にした配色（色相変化）」
10	配色3	「トーンを基準にした配色（トーン統一）」
11	配色4	「トーンを基準にした配色（トーン変化）」
12	配色5	応用編としてグラデーションなど知る
13	復習確認テスト2	ここまでの内容をどの程度理解できたか確認する
14	検定対策	検定対策問題を解く
15	検定対策	検定対策問題を解く

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	資格対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	資格対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・ITプログラミング科	4	60
使用教材	1令和08年 イメージ&クレバー方式でよくわかる かやのき先生のITパスポート教室 2令和08年 かやのき先生のITパスポート教室準拠 書き込み式ドリル		出版社	技術評論社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ITパスポートの合格を目指すと同時に情報処理の基本知識を「浅く広く」学び、職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を習得する。				
到達目標	ITパスポートの資格取得に向けて、過去問題を解く対策をする前段階として、基本的な知識を身につける。				
評価基準	テスト50%、提出物20%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ITパスポート				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	関 剛	実務経験		○	
実務内容	光村印刷(株) DTP(デザイナー) 5年 フリーランス DTP(デザイナー)・WEB 28年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第1章 ハードウェア	ITパスポート試験概要、授業内容の説明 情報に関する理論、コンピュータの構成とCPU、主記憶と補助記憶、半導体メモリ、入出力
2	第1章 ハードウェア	確率と統計、基数変換
3	第2章 ソフトウェア	ソフトウェア、ファイル管理、ファイルのバックアップ、ユーザインタフェース、マルチメディア、表計算
4	第3章 システム構成	コンピュータの形態、システム構成、システムの信頼性、システムの評価
5	第4章 ネットワーク	ネットワークの構成、無線LAN、通信プロトコル
6	第4章 ネットワーク	インターネットの仕組み、通信サービス、Webページ、電子メール
7	第5章 セキュリティ	情報資産と脅威、サイバー攻撃、情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメント、利用者認証
8	第5章 セキュリティ	ネットワークセキュリティ、暗号化技術、デジタル署名と認証局

9	第6章 データベース	データベースとデータ操作、データベース設計、データの正規化、データの抽出と論理演算、データの整列と集計、トランザクション処理
10	第7章 アルゴリズムとプログラミング	アルゴリズムとデータ構造、疑似言語、プログラム言語とマークアップ言語
11	第8章 マネジメント	企画・要件定義と調達、システム開発、テスト手法と運用・保守、ソフトウェア開発手法、プロジェクトマネジメント
12	第8章 マネジメント	工程管理、ITサービスマネジメント、システム監査
13	第9章 企業活動と法務	財務諸表、損益分岐点と資産管理、知的財産権、セキュリティ関連法規、労働関連法規・取引関連法規、業務分析、データ利活用と問題解決、標準化
14	まとめ	まとめ
15	第10章 経営戦略とシステム戦略	企業活動、企業統治と内部統制、経営戦略、情報システム戦略と業務プロセス、マーケティング戦略、AI 等